

## 早稲田大学 法学部 政治・経済 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	昨年度に比べ、時事問題は減少した。経済学や政治学などさまざまな分野の戦略分析において活用されている「ゲーム理論」が出題されている。論述問題が3問（うち1問は字数80字の制限あり）。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	わが国の司法制度とその問題点	「司法権の独立」は厳密には、「裁判官の職権の独立」、「裁判官の身分保障」、「裁判官の経済的保障」により確保される。裁判の遅延(長期化)や死刑制度の犯罪抑止効果についてはよく論議されている。子供が被害者となった凶悪な殺人事件については誘拐事件などにおいて死刑判決が下された。	標準
II	公害 地球環境問題	公害・地球環境問題についてやや踏み込んだ設問が多い。「四日市ぜんそく」においては、企業側の「共同不法行為責任」が問われた。地球環境問題に関する条約については、一般的な教科書・用語集では対応できないような難問もみられる。	やや難
III	ゲーム理論 市場機構	「ゲーム理論」はJ・フォン・イノマンがモルゲンシュテルンの協力を得て完成させた。ゲーム理論の研究ではノーベル経済学賞を受賞したJ・ナッシュが有名。問3～問6は文章の読解力と思考力が問われる。文章を丁寧に読めば解ける問題。	やや難
IV	社会保障制度 少子高齢社会	わが国の社会保障制度の概要と問題点に関する基礎的知識を問う問題。問4のような論述式の問題は、設問に注意して、キー・ワードと字数配分を設定してまとめた方がよい。	標準

### 〔総合コメント〕

<p>昨年度、出題されなかった分野について、教科書レベルの問題からやや専門的な問題までは幅広く出題されている。IIの地球環境問題の選択肢の難問は、あわてずに確実なものから消去法により解答を導く手法も有効。</p> <p>「ゲーム理論」は人間の行動の最適戦略を分析する数学の理論。一見難しそうでもリード文をじっくり読めば解ける問題も多い。</p> <p>いずれにせよ、教科書・用語集・資料集レベルの問題は確実に得点することが大切。</p>
--